

技能実習生  
47都道府県プロフィール(Ⅱ)

兵庫県

# 多文化共生×防災 外国籍従業員とその企業向け オンライン防災研修

2022/3/18

日本で多く発生する災害は、多くの外国人の方にとって馴染みがなく、災害時の対応や事前の備えについての正しい知識を得ることは、日本で生活する上でとても重要である。

このセミナーの目的は、日本国内で暮らす外国人の方々が、日本の災害について理解を深め、また企業のみなさまが外国籍従業員も含めた企業防災対策を推進するためのヒントを得ていただくこと。

共催：JICA関西、公益財団法人京都府国際センター（KPIC）

協力：株式会社鶴見製作所

The poster features a yellow background with a pattern of small yellow circles. At the top, it includes the JICA logo and the text '日本に暮らす外国人と一緒に 命を守るための防災イベント'. The main title is '多文化共生 × 防災 外国籍従業員とその企業向け オンライン防災研修'. The date and time are '2022.3.18(金) 14:00-15:30'. A green box contains the text '企業内防災担当者や社員のみなさま、企業内防災に関心のあるご担当者様に参加も大歓迎!!'. Below this are three blue circular icons: 'オンライン配信' (Online Broadcast), 'ベトナム語への通訳あり' (Interpreter available for Vietnamese), and '参加無料' (Free of charge). At the bottom, there are two sections: '多言語での災害情報の見つけ方' (How to find disaster information in multiple languages) and '自宅での避難生活に役立つグッズを紹介' (Introduction of useful items for evacuation at home). The bottom section includes illustrations of a smartphone, a hand holding a phone, and various household items like a rice cooker and a water bottle.

# CITIZENアウトレットで技能実習生応援キャンペーン

2022/07/28

シチズンアウトレットでは新型コロナウイルスの影響で帰宅困難となっていた『外国人技能実習生』『留学生』『在日外国人』の方を応援しています。  
(全国のアウトレットで展開)

8/31まで、ご購入前にこちらの画像を印刷（スクリーンショットでも可）、パスポート・在留カードを持参いただいた方に素敵な割引特典を提供。

# CITIZEN



## 急増する外国人、どう共生 相談窓口の担い手課題

県内に住む外国人が増え続けている。特に、働きながら技術を学ぶ技能実習生（最長5年）の増加が著しく、言葉や慣習の違いからトラブルになる事例は少なくない。

県は多文化共生社会の実現を掲げ、地域の日本語教室と相談窓口の拡充を図るが、現場は様々な課題を抱えている。

県内の在留外国人は、2014年の約9万7千人から19年には約11万6千人に増加。技能実習生は約5千人から約1万4千人に急増。全体の国籍別では韓国・朝鮮、中国、ベトナムの順に多く、居住地は播磨や但馬地域などにも広がり、「多国籍化と分散化が進んでいる」

こうした現状を受け、県は地域の日本語教室や相談窓口が、外国人のセーフティーネットや社会参画の足がかりになると期待し、拡充を進めている。

2021/6/23



## コロナ禍、外国人の孤立防ごう 三田のNPO支援

2021/8/9

子どもの支援やまちづくりに取り組むNPO法人「場とつながりの研究センター」（兵庫県三田市三田町）が、新型コロナウイルス禍にある在留外国人の支援を始めた。技能実習生の受け入れ拡大などで、三田市でも東南アジア出身などの外国人が増加している。同センターでは新たにベトナム人スタッフを雇用しており、外国人が地域で孤立しないよう、居場所やつながりづくりを目指す。

「行政の重要な情報ほど、難しい日本語で書かれている。災害時にはさらに伝わらない可能性がある。普段から地域とのつながりづくりが重要」



NPO法人「場とつながりの研究センター」のメンバー。